



写真:えびの岳 ブナの新緑(撮影:平成29年5月18日)

「ブナ」

ブナ *Fagus crenata* ブナ科 ブナ属

山に水を蓄える木

ゴールデンウィークに入るころ、えびの高原周辺に新緑の季節が訪れます。冬の間閉ざしていた冬芽が膨らみ、透明感のある葉が展開されると、山全体が優しい新緑の色に染まります。

えびの高原に登山口があるえびの岳。稜線沿いはブナの木が目立ちます。特徴は、幹の白い斑点模様、といってもブナ自体の模様ではなく、樹皮の上に生息する地衣類という生物が独特の模様を作りだしています。ブナは、大きく成長すると20m以上にもなり、見上げると迫力があります。青空に向けて枝葉が伸び、少しでも効率よく葉に日が当たるようにしているようです。また、ブナの林は保水力が高いことも知られています。雨の日、一枚一枚の葉に降った雨が、枝をつたい幹に集められると、一本のブナの木がまるで大きな水柱のようになります。根をつたい、落ち葉の下の土壌に雨水は蓄えられ、湿潤な環境で生物多様性の高い霧島山を支える大切な役割を担っている木です。

(文)えびのエコミュージアムセンター

霧島山の
めぐみめぐる
えびの
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市
LINE公式アカウント



えびの市広報
Facebook



「マチイロ」
マチを好きになるアプリ

※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。